VerbMon

バブモン

どんなゲーム？

同じ動詞の「原形」「過去形」「過去分詞形」の３枚のカードを集めると１組の「活用セット」が完成！
６枚の手札を交換しながら「活用セット」を２組そろえよう！

動詞の活用は、不規則変化も多いので覚えるのが大変！
でも「バブモン」ならゲームで遊びながら楽しく覚えられる！

動詞のもとの形

時制が過去のときに使う形

完了形や受動態で使う形

★マークがついたカードは「他の活用と同じスペル」の動詞カード！
このカードは他の活用としても扱うことができるぞ！

(例) playの過去形playedと過去分詞形playedはスペルが同じ！

過去形playedは
過去分詞形played
としても扱える

過去分詞形playedは
過去形played
としても扱える

ゲームの始め方（セットアップ）

SPカードについては
4ページ参照

各プレイヤーに山札から６枚ずつカードを配り、手札にします。
「Rainbow」以外のSPカードが配られたときは、山札の１番下に戻してもう１枚引きます。手札は他のプレイヤーにも見えるように並べて置きます。
全員に配り終えたら山札をシャッフルし、じゃんけんでスタートプレイヤーを決めてゲーム開始！

ゲーム開始時の場（４人の場合）

自分の番にやること

自分の番になったら、山札からカードを１枚引いて手札に加え、手札からカードを１枚選んで捨てます。その後、次の人の番に移ります。
手札は必ず６枚になるようにします。
カードを捨てるときに、そのカードに書いてある「原形」「過去形」「過去分詞形」を発音しよう！

イート　エイト　イートゥン
eat　ate　eaten

勝利条件

手札に同じ動詞の「原形」「過去形」「過去分詞形」の３枚のカードが集まると１組の「活用セット」が完成します。
最初に「活用セット」を２組そろえたプレイヤーが勝利となります！

山札がなくなったら？

捨て札置き場のカードを全てシャッフルして、新しい山札にします。

活用セット一覧

この組み合わせをそろえよう

規則動詞

語尾に「ed」をつけて過去形・過去分詞形をつくるタイプの動詞。
過去形と過去分詞形のスペルが同じです。

playの活用セット

studyの活用セット

不規則動詞（ABB型）

過去形と過去分詞形のスペルが同じタイプの動詞。

buyの活用セット

bringの活用セット

不規則動詞（ABC型）

原形・過去形・過去分詞形の全てのスペルが違うタイプの動詞。

eatの活用セット

giveの活用セット

seeの活用セット

takeの活用セット

ゲームに勝つコツは？

規則動詞とABB型の不規則動詞（★マークがついたカード）は、過去形と過去分詞形のスペルが同じなので「活用セット」をそろえやすいです。
これらのカードが手札にあるときは積極的にねらってみよう！

こんな組み合わせでも
活用セットができるぞ

他の活用セットより
そろえやすいね

playの活用セット

buyの活用セット

SPカード（スペシャルカード）の使い方

「Rainbow」以外のSPカードは、山札から引いたときにそのカードを捨てて、効果を使います。

山札からカードを２枚引いて、手札を２枚捨てます。
この効果で「Rainbow」以外のSPカードを引いたときは、山札の下に戻してもう１枚引きます。その後、山札をシャッフルします。
「Rainbow」は動詞カードと同じように手札に加えられます。

捨て札の動詞カードを１枚選んで手札に加え、手札を１枚捨てます。
捨て札のSPカードを選ぶことはできません。
捨て札に動詞カードがない場合は、何も起こりません。

自分の手札と他の１人のプレイヤーの手札を１枚交換します。
交換する相手とカードは、このカードを引いたプレイヤーが決められます。
動詞カードだけでなく「Rainbow」も選ぶことができます。

他のSPカードと違い、動詞カードと同じように手札に加えて使います。
手札にあるこのカードは、好きな動詞カードの代わりになります。
どの活用（原形・過去形・過去分詞形）として扱ってもOKです。

『VerbMon：バブモン』追加ルール

EXTRA RULE

ゲームをより楽しんでもらうための追加ルールです。
通常のルールに慣れてきたら、ぜひトライしてみてください。

いただきルール

自分の番になったら、やることを次の2つの方法から選ぶことができます。

① 山札からカードを1枚引く（通常のルール）

② 直前のプレイヤーが捨てたカードを1枚取る

取れるのは「前の番に捨てられたカード１枚のみ（捨て札の１番上）」です。
捨て札の１番上がスペシャルカードの場合は取れません。

①か②を行った後は、通常通り手札を1枚捨ててください。

めかくしルール

「通常のルール」では手札を他のプレイヤーにも見えるようにしますが、
「めかくしルール」では手札を他のプレイヤーには見せないようにします。

おてがるルール

「通常のルール」では手札は６枚ですが、「おてがるルール」では手札が３枚になります。活用セットを１つそろえれば勝ちです。
片手で持てる枚数なので、車や電車・飛行機の中など、お出かけ先でも気軽に遊べます。ルールが簡単なので、小さいお子様でも遊べます。

自分たちで追加ルールを考えてもOK！
ハウスルール大歓迎！

遊びやすいように自由にアレンジしてね！

学習GAME INDUSTRIES

学習ゲーム・インダストリーズ 商品ラインナップ

『学習ゲーム・インダストリーズ』では『VerbMon：バブモン』以外にも、遊びながら英語を学べるカードゲーム・ボードゲームを販売しています。

ABCアッセンブル

場のカードに合わせて手札の同じ品詞・同じスペルのカードを出していく、ゴーアウト系のカードゲーム！英語の品詞・修飾のルールを遊びながら学べる！

AiM TWO：エイム・トゥー

2枚のカードには必ず1つだけ共通する単語がある！その単語を誰よりも早く見つけよう！英単語・単数形と複数形・動詞の活用などが自然と身につく！

より詳しい情報はホームページやSNS公式アカウントをご覧ください。

学習ゲーム・インダストリーズ
公式ホームページ

VerbMon：バブモン
商品紹介ページ

X公式アカウント
最新情報はこちら！